

診療情報使用に関するお知らせ

『研究課題名 感染創に対する V.A.C Ultra[®]型陰圧維持管理装置の治療効果の検討』

【研究の背景および目的】

V.A.C.[®] (KCI 社)は、局所陰圧閉鎖療法によって創傷治癒を促進するシステムです。創傷面に局所的に管理された陰圧をかけることで、創縁を引き寄せ、過剰な浸出液および感染性老廃物の除去を図り、肉芽組織の形成を促進させるシステムとして広く普及していますが、感染創に対しては適応がないという問題点がありました。感染創への対応として、2017年よりV.A.C Ultra[®]型陰圧維持管理装置(以下 VAC Ultra、KCI 社)が保険収載されたことを機に、当院でも同システムを導入しました。VAC Ultra は創傷への洗浄液注入および浸漬、局所創洗浄、陰圧閉鎖療法を周期的に行うことで、従来の V.A.C.[®]による治療が奏功しない感染創への適応が可能となり、近年急速に普及しています。しかしながら、これまで感染制御に適した浸漬時間や吸引時間などの統一された見解やガイドラインはありません。

そこで、東邦大学医療センター大森病院形成外科では、過去に VAC Ultra を使用した症例を後方視的に調査し、感染を伴う難治性創傷に対する本システムの適切な使用法を検討することを目的とし、本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、VAC Ultra の適切な使用による早期の感染制御や、それに伴う治療期間の短縮につながると考えます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2017年9月～2018年12月までに東邦大学医療センター大森病院形成外科において、VAC Ultra を治療に使用した症例(22例)を対象とします。

診療録(カルテ)から抽出した創治癒の経過や組織培養検査結果、手術成績を解析し、感染制御に適した VAC Ultra のパラメーター値(浸漬量、浸漬時間、吸引圧、吸引時間)や使用期間を調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。